

郡司奨学生の近況報告

【19 期生】

海外に住んで働く夢実現に向けて就活中

首都圏の私立大学4年生になった女子学生

今、就職活動に力を入れています。将来なりたい姿がはっきりせず、英語が話せる人はたくさんいる中、強みにできることを探す途中でなかなか就職活動に前向きに取り組めませんでしたが、アドバイザーの方にたくさん話を聞いてもらい業界を絞らずたくさんの説明会に行ってみました。高めあい、刺激し合える人と働きたいこと、言われたことをするより自分からどんどん挑戦したいことなど軸にしたい要素が少しずつ見つかってきました。今はその中で興味を持った会社の選考一つ一つにしっかり準備をして臨んでいます。将来は海外に住んで働きたい夢があるので、まず初めに入る会社で私自身の価値が上がるよう、どこにいても通用する社会人になれるよう早く成長したいという思いがあります。

最近ではTOEICテストで905点を取得することができました。テストと実際話すスキルは比例しないことはよくわかっているのですがそこに達成感を感じていませんが、ご支援のおかげで授業後の時間をアルバイトでなく勉強に当てられた結果なので、環境にとっても感謝しています。また、1年前は700点程度で満足していたので自分の向上心がもっと大きくなっていたことも感じ嬉しかったです。

最後の学生生活は思いっきり勉強できる環境を最大限使いたいです。最近韓国語の勉強も始め、スペイン語と並行して時間を忘れて勉強しています。語学はコミュニケーションの幅が広がることだけでも大きなモチベーションですが、新しい単語を覚え少しずつ理解できるようになることで成長を感じやすいため心の充実感があります。昨日の自分より少しでも知識を増やせるように、ゼミの国際関係の勉強と趣味の勉強どちらも全力で楽しみたいと思っています。

理学療法士として就職するため、病院を見学中

関西の私立大学4年生になった男子学生

大学では3年次の過程が終了しました。11月から3週間の病院実習に行ってきました。実習は茨城県の整形外科病院に行きました。慣れない土地に1人で行くという事は初めてでしたが、対応力やコミュニケーション能力が身についたと感じています。また、大阪とは違い坂道が多く患者様が退院して生活を送る上で困ることはないか等、住環境とリハビリテーション内容について考える良い機会になりました。実習では主に理学療法士の仕事に参加させて頂きました。まずは指導者の方の理学療法を見て学び、説明していただいた上で実際にリハビリテーションの一部を対象者に実施しました。本来実習では経験できないカルテ入力などの業務の一部も経験することができ、とても良い経験になりました。

また、今回の実習を経て幅広い疾患のリハビリテーションに関わりたいと感じ、急性期から回復期まで病棟のある総合病院への就職を考えました。以前は手術後すぐなどの患者様のリハビリテーションを行う急性期を希望していましたが、急性期のみの病院で働くと一定期間で患者様が退院してしまい、経過が追えません。責任を持って一貫したリハビリテーションが提供出来るように回復期まで患者様と関わり、治療していける病院を目指そうと考えました。

就職へ向けて病院見学を行っている最中です。就職活動は4年生の4月から始まる3ヶ月半の実習後ですが、実習にしっかり取り組み理学療法士として働くための実践的な能力を身につけた上で就職活動に臨みたいです。コロナウイルス感染拡大の影響で就職活動の制限や実習中止の可能性など不安は大きいですがしっかりと今できる勉強や病院の下調べ等を行っていきます。

「関西と世界をつなぐ」ために空港運営会社が第一志望

関西の国立大学4年生になった男子学生

3年後期に入ると就職活動に本腰を入れるようになりました。これまでは、民間企業への就活と並行して教員免許を取得しようかとも考えており、漠然と働きたいという意欲はあるものの、どこでどのように働きたいかまではあまりイメージできていませんでした。しかし、企業が集まる合同説明会に参加することが多くなるにつれて、自分がどの業界で働きたいかを絞れるようになってきました。大学入学時からの「日本と世界をつなぐ」ということへの関心は変わっておらず、日本の中でも特に思い入れの深い「関西と世界をつなぐ」ことができるような企業として、空港運営会社を第一志望として考えているところです。

やりたいことが見つかり、就職活動の事前準備としてインターンや説明会などに参加しようと考えていました。しかし、その矢先に世界的にコロナウイルスが流行してしまい、その機会が失われてしまいました。初めての就職活動で、ネッ

トでの説明会の実施のような慣れないことが行われており、目まぐるしく変化する環境の中で、期待と不安の中、就職活動に励んでおります。

大学生活も3年があっという間に過ぎてしまい、あと1年しかないのかと感じるが増えました。英語の資格試験の点数のような目に見える成長や、アルバイトや課外活動を通じた目には見えない成長を経験してきたと感じています。ここまでこられたのは様々な人や社会の期待と支えがあつてのことだと思っています。残りの大学生としての時間を有効に使い、これからは逆に自分が社会に対して貢献していけるように準備をしていきたいと思っています。

里親に恩返しするため、地元に戻ると決心

中国地方の私立大学4年生になった男子学生

大学生活も残り一年となり、緊張が高まっております。地元に戻るたびに自分は何ができるか見つめ直す時間にもなっています。自分の将来像を考えたり、ワークライフバランスを保てるような企業探しや、今までやってみたいことを探してみたりするなど、普通という価値観をどうしたら充実させることができるか、授業ない時以外は深く考えることができるのは今しかないと強く感じました。特に里親にお世話になっており、次は私が恩返しする番だと強く感じているため、地元に戻ることを決心しました。そして里親の御縁を活用し、やりがいを持てるよう今までやってきた知識や経験を精一杯引き出せるようにしたいです。

社会福祉士や保育士の実習を通して、現場で活躍する方の背中を見てきました。特に上に立つ人の姿を注目し、どうしたら人を動かせるのだろうか学ばせて頂きました。私は未だに知識不足と経験不足で足手まといになりながらも全力で学び、とにかく楽しむことを意識してきました。昨年の11月には中四国保育研究発表がありました。私は1人でプレゼンすることは初めてで、本格的な研究にはこんなに時間がかかるものだと感じました。私の研究内容は性教育に関する絵本と人権ですが、資料集めからプライバシー保護等、考慮すべき課題が多く上がり、思っていた以上に研究はきついことを理解しました。しかし、大学の名前を背負って一人で立ち向かうことに誇りや励みがありました。押し潰されても乗り越えた今はいいい経験となっています。

就職活動と授業等で忙しいですが、残り一年の大学生活に悔いのないよう何事にも乗り越えようと励んでいます。公務員試験や社会福祉士の勉強など将来活か

せるために頑張っています。人生で思い出の一つとして大きく残るようなことを今年もやり遂げたいと思います。

コンクールでマーケティングを活かして優秀賞

北陸地方の公立大学4年生になった男子学生

世界中が大変な中、大学生最後の学年となりました。学校はゴールデンウィーク明けからになり、就活も延期、アルバイトは自粛モードと、なにも動けない状況があとどのくらい続くのか不安です。帰省できないものの、通話を通して姉や妹と近況報告や雑談をしてお互いに励ましあっています。

学業ではゼミ活動で行われたコンクールでマーケティングを活かして優秀賞をとることができました。就活ではインターネットや実際の話を聞いたりして様々な職業の実態を知り、どの業界が自分にとって良いのか迷走する日々でございます。しかし、今までたくさんの方に支えられて生きてきた自分にとって、変わらないのは、仕事を通してたくさんの方を支えたいということです。でも飲食業はいやです（笑）とりあえずは今できることを真剣に頑張っていこうと思います。次の報告には内定が取れていると思うので、期待して待っていてください！

【20 期生】

自分が着る着物を作るのが、とても楽しみ

首都圏の私立大学4年生になった女子学生

今年は単位を落とさずに進級することができました。昨年よりも学校生活に慣れてきたため、遅刻や欠席を減らすことができました。昨年、単位を修得することができなかった英語も、今まで以上に力を入れて取り組んだ結果、単位を修得することができました。また、春休みには集中授業を受講し、朝9時から夕方6時まで授業を行う日が何日も続いて大変でしたが、遅刻することなく授業に取り組むことができました。「リテールマーケティング」という販売士の資格を取りたいと思い、資格取得に向けた勉強も頑張りました。2月にテストを受け、結果については少し不安でしたが、合格し資格を取得することができました。将来、販売に携わる仕事に就くかは分かりませんが、この資格を取ったことによって、就職の幅が広がれば良いなと思っています。

4月からはまた自分の好きな和裁の授業を取りたいなと思っています。今年は、自分が着る着物を作るということなので、とても楽しみにしています。2年生の後期は和裁の授業を取りませんでした。そのため、縫い方などを少し忘れてしまっているところがあるかもしれませんが、少しずつ思い出して頑張りたいと思います。

大学生活はあと2年です。今、ちょうど半分終わったところで、少しほっとしています。ひとり暮らしにも慣れたので、あと残り半分の大学生活を、2年後の自分のためにコツコツと頑張っていきたいなと思います。

施設退所し、友達と学校近くのシェアハウスに

中部地方の看護専門学校3年生になった男子学生

2年生も無事終わることができました。2年生の目標は成績が10位に入ることでしたが、前期は11位、後期は16位と目標は達成できませんでした。今年からはほぼ実習となるので実習に落ちて再実習とならないように取り組んでいきたいです。今年が学校最後の年なので就職活動も始まりました。自分は面接と小論文が苦手なので何とかマシなレベルにまでできるようにしていきたいです。また、国家試験のための勉強も必要であり、とても忙しい状態なので、ストレスで倒れないように気を付けたいです。

学校生活以外では、お世話になった施設を退所となり、学校の友達と県外に出て学校の近くでシェアハウスをしています。今までやってもらっていたことをすべて自分でやらなければいけず、面倒くさいところもあり、学校で疲れると家のことをやらなくなることもあるので、生活面にも気を付けていきたいです。

授業開始に向けてピアノの練習

首都圏の私立短大3年生になった女子学生

4月から3年生となりました。秋学期に1科目だけ落としてしまったので、3年の秋学期に受けなくてははいけません。3年生は卒業の年なので留年しないようにしっかり勉強をします。

今は緊急事態宣言も出て学校の開始日が延びていて家で過ごす事が多いので、家でピアノの練習を沢山して学校開始に向けて頑張っています。

2月にあった施設実習も受かり、残りの実習はあと2回残っています。次は、保育所実習なので手遊びや折り紙を練習し、実習に臨みます。

「慣れは諸刃の剣」を肝に銘じて

中部地方の私立大学3年生になった男子学生

大学に通い始め、あっという間に2年が経ちました。今年から実習が始まるとともに更に専門的な学習も増えてくるので、今まで以上に気を引き締めて取り組んでいかなければなりません。2年ではアルバイトやサークルの時間を多く割いてしまい、勉強の時間をあまり確保することができませんでした。大学生活に慣れてきたということもあり、自分の中で余裕が生まれ、勉強面のことに何とかなるという気持ちにつながっていったのだと思います。そのため、単位を落とすことはないと思っていた自分の甘さがしっかりと成績に現れてしまったのだと思います。新学期からは勉強と私生活を両立できるよう気を新たに頑張っていきたいと思います。

以前、担当している施設の職員の方から「慣れ」は諸刃の剣という話を聞きました。何事にも慣れることは必要だが、それが慢心につながり、大切なことに気付かなくなるという話でした。これは教師の仕事に関しても同じことが言えると思いました。自分が担任になった時、クラスの生徒の声をしっかり聴くことができるのか。こころの声に気付くことができるのか。そう考えると自分の慣れが怖くなりました。だからこそしっかりと自分自身を俯瞰的な視点で見られるような人間になればならないと感じました。

今年度から3年生となり、色々と周りの環境も変化していくと思いますが、しっかりとけじめをつけた生活を送り、やるべきことに積極的に取り組んでいきたいと思います。

仕事との両立目指し、勉強の計画を練り直す日々

関西の通信制大学に通う女子学生

1学年で取得することができなかった、勉強できなかった科目の単位を取得し、なるべく追いつけるように励んできました。結果、1学年よりは単位を取得することができました。テキスト履修は試験があり、難しいので、まだ単位取得が簡単な方のスクーリングの方へ積極的に行きました。

単位取得の為の試験勉強は、4 学年の夏にある、教員採用試験の試験勉強にもなるため、単位取得がメインではなく、後の教員採用試験の勉強をしているつもりでいます。ただ、教員採用試験のことを考える余裕はあまりないので、どうしても単位取得をメインにしがちです(単位取得しないと教員免許すら取れないので)。

仕事との両立はまだまだ上手くいっていないので、勉強の計画を何度も練り直している日々です。今年度が、主に教育学の専門分野を勉強する年であるため、更に力を入れていきたいと考えています。教員採用試験のこと(進路のこと)を考える必要はもちろんあるのですが、教師になるためにはまず、教員免許の取得、そして大学卒業のことを1 番に考えなくてははいけません。進路以前に、ちゃんと4 年で卒業ができるのか、教育実習のために必要な科目や単位数を取得できるのか、など、現地点での焦りがとてもあります。しかし、焦っている暇などないので、焦ることよりも、勉強を頑張ります。